

第3節 河川環境の整備と保全に関する事項

渡良瀬川圏域の河川は、河床勾配は1/150～1/400の急流河川であり、河道は礫・玉石を主とした礫河原が形成されている。

河川の水質については、環境、利水状況に応じて類型指定し、その類型ごとに環境基準が定められている。渡良瀬川圏域の河川では渡良瀬川、桐生川の2河川に水質測定地点があり、渡良瀬川（桐生川合流後）と桐生川（観音橋より下流）はB類型、その他はA類型に指定されている。また、草木ダム、桐生川ダムでは湖沼A類型に指定されている。

水質の状況は、表-2.7のとおりであり、近10年の平均値でみると、一部大腸菌群数が未達成であるものの、それ以外については十分基準を満足している状況であり、特にBOD値などは上位の類型基準を満たすほどの良好な水質が確保されている。

なお、渡良瀬川圏域の汚水処理人口普及率については、桐生市では87.8%と県内でも普及率が非常に高く、みどり市では46.9%で、県平均70.0%を下回る状況にある

表-2.6 県内汚水処理人口普及率(平成20年度末)

市町村名	率	市町村名	率	市町村名	率
前橋市	84.0%	榛東村	81.7%	高山村	87.8%
(富士見村)	80.6%	吉岡町	91.1%	東吾妻町	56.7%
高崎市	81.2%	上野村	92.3%	片品村	54.3%
(吉井町)	64.4%	神流町	37.6%	川場村	85.8%
桐生市	87.8%	下仁田町	20.5%	昭和村	90.5%
伊勢崎市	54.8%	南牧村	25.6%	みなかみ町	67.8%
太田市	66.6%	甘楽町	79.1%	玉村町	68.9%
沼田市	71.0%	中之条町	82.7%	板倉町	63.7%
館林市	73.0%	長野原町	68.1%	明和町	58.4%
渋川市	76.5%	嬭恋村	79.9%	千代田町	40.2%
藤岡市	42.9%	草津町	87.2%	大泉町	51.3%
富岡市	50.9%	六合村	65.5%	邑楽町	42.2%
安中市	37.8%				
みどり市	46.9%	県平均		70.0%	

出典：群馬県統計情報提供システム